

2 級土木施工経験記述 記入用紙 A 「品質管理・工程管理」

会社名	氏 名	メールアドレス

【総合評価】

<input type="checkbox"/> 合格圏	良くまとまっています。本試験で、この記述を再現できるようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 準合格圏	あと一步で合格圏です。添削をもとに修正すれば合格圏に達します。
<input type="checkbox"/> 努力圏	改善の余地があります。文章を簡潔にし、要点をまとめて書きましょう。
添削者コメント	

【問題】 あなたが経験した土木工事を1つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、次の〔設問1〕、〔設問2〕に答えなさい。
 なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

【工事概要】 あなたが経験した土木工事に関し、次の事項について解答欄に明確に記入しなさい。

【注 意】 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。
 なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

(1) 工事名

工 事 名	
-------	--

(2) 工事現場における施工管理上のあなたの立場

立 場	
-----	--

(3) 工事の内容

①発注者名	
②工事場所	
③工 期	
④主な工種	
⑤施 工 量	

2 級土木	氏 名
タイプA「品質管理・工程管理」	

〔設問 1〕 工事概要に記述した工事の「品質管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

(1) 具体的な**現場状況**と特に留意した品質管理上の**技術的課題**（7行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 級土木	氏 名
タイプ A 「品質管理・工程管理」	

(2) (1) で記述した技術的課題を解決するために検討した項目とその対応処置（7 行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 級土木	氏 名
タイプA「品質管理・工程管理」	

〔設問2〕 工事概要に記述した工事の「**工程管理**」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

- (1) 施工条件や現場周辺の状況の観点から、工程管理上、**留意した事項**（7行）
（工事着手前、工事中のいずれでも可）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 級土木	氏 名
タイプA「品質管理・工程管理」	

(2) (1)で記述した留意事項に対して講じた**対策**とその**理由**（7行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 級土木施工経験記述 記入例 A 「品質管理・工程管理」

会社名	氏 名	メールアドレス

【総合評価】

<input type="checkbox"/> 合格圏	良くま	書き方の見本	ようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 準合格圏	あと一		圏に達します。
<input type="checkbox"/> 努力圏	改善の		めて書きましょう。
添削者コメント			

【問題】 あなたが経験した土木工事を1つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、次の〔設問1〕、〔設問2〕に答えなさい。
 なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

【工事概要】 あなたが**経験した土木工事**に関し、次の事項について解答欄に明確に記入しなさい。

【注 意】 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。
 なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

(1) 工事名

工 事 名	市道 15 号線寺田地区舗装修繕工事
-------	--------------------

(2) 工事現場における施工管理上のあなたの立場

立 場	工事主任
-----	------

(3) 工事の内容

①発注者名	兵庫県豊岡市土木部建設課
②工事場所	兵庫県豊岡市赤城町寺田地内
③工 期	令和 6 年 1 0 月 2 5 日～令和 7 年 1 月 3 0 日
④主な工種	路面切削工、基層工、表層工
⑤施 工 量	路面切削厚さ $t=10\text{cm}$ ・面積 $A=1,500\text{ m}^2$ 、 基層厚さ $t=5\text{cm}$ ・面積 $A=1,500\text{ m}^2$ 、 表層厚さ $t=5\text{cm}$ ・面積 $A=1,500\text{ m}^2$

〔設問 1〕 工事概要に記述した工事の「品質管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

(1) 具体的な**現場状況**と特に留意した品質管理上の**技術的課題**（7行）

本工事は、市道 15 号線寺田地区の舗装の老朽化に伴い、道路の幅員 5.5m、延長 210m の道路を改良する工事であり、基層と表層を施工するものであった。

施工場所は、アスファルトプラントから 20 km の位置で、施工時期が寒冷期にあたり、アスファルト混合物の運搬中に混合物の温度が低下し、その状態で舗設すると、所定の締固め度を得られない恐れがあった。

よって、本工事では、アスファルト舗装の品質を確保するアスファルト混合物の温度管理が課題となった。

(2) (1) で記述した技術的課題を解決するために**検討した項目**とその**対応処置**（7行）

課題を解決するために、以下の検討を行い、対応処置をとった。①敷きならし時の混合物の温度が 110℃を下回らないよう出荷時の混合物の温度を検討した。混合物の温度は 170℃に設定し、現場での待機時間を短縮した。②混合物の温度が低下しないよう運搬中のダンプトラック荷台の保温方法を検討した。ダンプトラックの荷台に保温シートを 2 枚重ねて、運搬中の混合物を保温した。③所定の締固め度が得られるよう施工時の混合物の温度を検討した。初転圧温度 110～140℃、二次転圧の終了温度 70～90℃、交通開放温度 50℃以下を確認した。

〔設問 2〕 工事概要に記述した工事の「**工程管理**」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

(1) 施工条件や現場周辺の状況の観点から、工程管理上、**留意した事項**（7行）

（工事着手前、工事中のいずれでも可）

施工場所は、商業地及び住宅地で、通勤・通学時は交通量が多かった。地元関係者や警察との事前協議で、午前8時から予定していた作業開始時刻を、午前9時以降に変更することになった。1日の作業時間が1時間短くなり、所定の工期内に工事を完成できない恐れが生じた。

このことから、工程管理上、以下の点について留意した。①路面切削したアスファルトがらを運搬するダンプトラックのサイクルタイム②施工機械の使用台数及び作業員の人員体制、③資機材の仮置場の確保

(2) (1)で記述した留意事項に対して講じた**対策**とその**理由**（7行）

上記の留意事項に対して次のような理由で対策を講じた。

①路面切削工では、ダンプトラックのサイクルタイムを短くして、作業効率を上げるため、現場近くにダンプトラックの待機場所を確保した。

②1日当たりの施工量を増やすために、路面切削工では、小型のバックホウを1台から2台に、作業員を1班4名の体制から2班8名の体制に変更した。

③資機材の搬入にかかる時間を短縮するため、現場から100m離れた民地を借り入れ、作業の進捗に合わせて事前に資材を仮置きした。